



こころざし

みずか うご

「志をもち、自ら動く」

令和4年4月12日発行

音戸中学校 学校通信 4月号 (教頭：大下展弘)

新しく自分を高めよう、変えていこう！

第1学期始業式で校長先生から次のようなお話をいただきました。

皆さんおはようございます。

まずは、二・三年生の皆さん、進級おめでとうでございます。今日から皆さんは新しい学年となり、この音戸中学校を支える中心になります。皆さんと共に過ごした多くの先生方が昨年度末で音戸中学校を去られ、不安な気持ちを抱えている人もいるかもしれません。

しかし今日は、私を含め、先ほど就任した先生方と共に、新たな音戸中学校の歴史と伝統を創る一年間が始まる日です。これまで積み上げて来た良い面は引き継ぎつつ、これまでの当たり前を少し違った視点で見直し、さらにレベルアップできるように、お互いを受け入れていきましょう。

そのためにも、ある話を紹介します。少し古い話ですから、何かの機会に聞いたことがある人もいるかもしれません。

「アメリカのコロラド州立病院に、ドクター・スミスという評判の良い外科医がいました。常に沈着冷静で、州知事にまで信頼されるほどでした。

ドクター・スミスが夜勤をしていたある日、交通事故のけが人を搬送するので緊急手術をしてほしいという電話が入りました。父親が息子と一緒にドライブ中、ハンドル操作を誤って谷へ転落し、息子が重体だと、救急隊員は話しました。約20分後、重体の子どもが父親に付き添われて病院へ運び込まれてきました。その子どもの顔を見て、ドクター・スミスは大変驚き、『息子が…』と我を失いました。」

さて、皆さんの中には、この話の意味がよく分からなかった人もいるのではないのでしょうか。なぜドクター・スミスが、最後に『息子が…』と言ったのかと思った人は、この話はつじつまが合わないと感じたはずです。

実は、私も初めて聞いた時には、意味が分かりませんでした。きっと私の中に「医者とは男性」という先入観や思い込みがあったからです。現在は女性の医師も多くなってきましたが、これまでの社会的な背景や状況から、自分の見方や考え方が狭められていることはよくあることです。このような先入観や思い込みにとらわれることは、新しい見方や考え方を遠ざけることにもつながります。

多くの先生方が代わり、皆さんが新しく自分を高めよう、変えようと考えている今だからこそ、透き通った視点で友達や学年・学級を見直してみると、新しい発見がたくさん見つかるかもしれません。その上で、しっかりとコミュニケーションを取り合い、お互いの意見や考えを尊重し合いながら、ともに高め合っていきましょう。

明日の入学式では54名の新入生を迎え、二年生51名、三年生58名の合計163名で新年度が本格的に始まります。まずは、今日、この後の準備から、先輩としての役割を全員が果たしてくれることに期待しています。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症は、予断を許さない状況です。気を緩めずに、一人一人が手洗いや手指の消毒など、基本的な感染症対策を確実にを行い、充実した学校生活を送れることを願い、始業式の式辞とします。

5 4 名の新入生が入学しました

4月7日(木)、第18回入学式で54名の新入生が入学しました。入学式の入場では、緊張と不安と希望が入り混じりながらの表情でしたが、校長先生の式辞や在校生代表の歓迎の言葉をしっかりと聞ける姿勢は、とても素晴らしい姿でした。新入生誓いの言葉では、代表者が、「(前略)夢を持ち、一步一步努力していきます。優しい心を持ち、感謝の気持ちを大切にしていきます。(中略)今日の素晴らしい入学式の感激を忘れず、頑張ります」など力強い言葉を校長先生に伝えることができました。在校生とともに伝統ある音戸中学校を創り上げていきましょう。

生徒会主催の新入生歓迎会

4月8日(金)に生徒会主催の新入生歓迎会が行われました。新型コロナウイルス感染症対策のため、全校生徒は集まることはできませんでしたが、生徒会執行部が新入生に「アイスブレイク」「生徒会執行部の自己紹介」「生徒会についての説明」「部活動紹介」を行いました。新入生も楽しく、たくさんのことを学んでいました。新入生からも代表者から「このような会を開いていただきありがとうございます」と感謝の言葉を伝えていました。生徒会執行部は、3学期から春休みにかけて準備を行ってきました。良い行事になりました。

■ 教職員の紹介

校長：脇田 啓治 (世羅町教育委員会より)	教頭：大下 展弘
国語：河井 知子	社会：上戸田 光史, 胡谷 徹
数学：中森 一夫, 伊藤 唯奈	理科：中田 正枝 (呉中央中より)
音楽：駕屋 妙子 (尾道市立長江中より)	美術：高松 美代子
保健体育：川口 淳	技術：川崎 辰美
英語：新山 里菜 (呉中央中より), 和田 愛美	家庭科：出家 公子
にじいろ学級：稲葉 玲子 (仁方中より)	養護教諭：村賀 潤子 (昭和南小より)
事務：坂口 陽子 (川尻中より)	学校主事：山田 一浩
学校教育指導補助員：二井 美佳 (新規)	スクールカウンセラー：岡崎 彩
日本語指導：中野 正敏	ALT：ストーバー・ネイサン・ケント
学校司書：山本佳代 (新規)	

(今後、2年国語・1年理科に非常勤講師が来られます。)

【令和3年度「サオンドバッジ」年間10個達成した生徒の紹介】



昨年度、音戸中学校独自の制度である「サオンドバッジ」を年間10個以上取得し、3月25日(金)の修了式で「ゴールドバッジ」を授与された生徒を紹介します。

2年1組 中野 幹くん 森島 綾香さん ※学年・学級は当時のものです

音戸中学校では「学級のMVP生徒」を、毎月2名ずつ選出して表彰しています。

「さわやか音中生」

学級のMVPの紹介

昨年度の3月分を紹介します

学級MVP【3月】

「サオンドバッジ(黄)」を授与しました

1年1組 伊東 瞳羽くん, 山本 華凜さん 1年2組 高 陽翔人くん, 山岡 美空さん
2年1組 中野 幹くん, 森島 綾香さん 2年2組 後 天斗くん, 有田 笑舞さん

※学年・学級は当時のものです